

# 養護教諭養成課程学生の進路決定プロセスとその要因

D12-4007 中山 萌恵  
指導教員 朝倉 隆司

キーワード：養護教諭養成課程、進路決定プロセス、養護教諭イメージ

## 1. はじめに

近年、学校保健の推進において、養護教諭の果たす役割の大きくなってきている。それに伴い、養護教諭として求められる資質能力も増えてきており、養護教諭養成課程では、高い専門知識と専門技術を育てることが求められている。養護教諭としての資質を育てるには、学生の学習意欲を高める必要があり、学習意欲は、職業への志望意識と相関するとされている。しかしながら、医療系大学生を対象に、医療職への進路決定プロセスを明らかにした研究や、教員養成課程の学生を対象に、教員志望意識の変化を明らかにした研究は多くあるが、養護教諭養成課程の学生を対象に、志望意識の変容と進路決定プロセスを明らかにした研究は見られない。本研究の目的は、養護教諭養成課程学生の第4学年にかけての志望意識の変化と進路決定プロセス、関連する事象を明らかにし、主として入学後の意識変化の契機や要因を検討することである。

## 2. 方法

養護教諭養成課程学生9名を対象とし、2015年10月～12月に、個別に半構造化インタビューを実施した。インタビュー内容は、①大学入学時の進路意識について、②大学生生活での教職意識の推移と変化の契機、③卒業後の進路についてとした。インタビューの語りから逐語録を作成し、対象者の進路決定までのプロセスを要約した後に、入学前の志望度を2段階、大学4年次の志望度を3段階に分け、合計6つにパターン分けした。各プロセスにおける現象を概観し、共通する事象をカテゴリーとして抽出し、進路決定に影響する主要要素と出来事を明らかにした。

## 3. 結果と考察

得られた質的データを分析した結果、大学入学前については【養護教諭のイメージ形成】【積極的志望/消極的志望】、大学入学後は【養護教諭へと傾倒した経験】【養護教諭の適性に自信を喪失した経験】【養護教諭の気がかり】【他職へ目を向けた経験】【教員・友人・指導教員】【新たな養護教諭のイメージ形成】【自己の振り返り】【進路決定】【期待・不安】【将来への展望】というカテゴリーが抽出された。

これらを用いて「養護教諭養成課程学生が進路を決定するまでのプロセス」を表した結果、大学入学前、生育環境における養護教諭との関わりから形成された【養護教諭のイメージ】を持っており、これと自分の興味分野との照らし合わせをすることで、養護教諭を【積極的志望/消極的志望】していた。大学入学後、講義や実習を通して、【養護教諭へと傾倒した経験】【養護教諭の適性に自信を喪失した経験】があり、その体験の中には、【教員・友人・指導教員】との関わりが密接に影響していた。そして、大学生生活を通して、新たな【養護教諭のイメージ形成】が起こり、自分の適性や、仕事をするうえで重視する基準を考える【自己の振り返り】と合わせて【進路選択】する。選択した進路に対しては、【期待・不安】が入り混じっていた。

## 4. 結論

本研究により、大学入学前には、【養護教諭のイメージ形成】から【積極的志望/消極的志望】で養護教諭という進路を選択すること、大学入学後には、【養護教諭へと傾倒した経験】【養護教諭の適性に自信を喪失した経験】から、【新たな養護教諭のイメージ形成】と【自己の振り返り】が行われ、【進路決定】することと、そのプロセスには【教員・友人・指導教員】が密接に関わっていることが明らかになった。